

令和7年度に修士・博士前期・専門職学位課程に 進学予定の方対象（学部最終年次等） 日本学生支援機構「修士課程等返還免除内定候補者」の募集について

修士課程等返還免除内定制度は、大学院第一種奨学金の貸与終了時に決定する「業績優秀者返還免除候補者（特に優れた業績により返還を免除される者）」を修士課程、博士前期課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）へ進学する前に内定する制度です。大学から候補者を推薦し、日本学生支援機構（以下「機構」という。）において審査のうえ内定者が決定されます。

内定者は貸与終了年度に「業績優秀者返還免除候補者」として機構へ推薦しますが、その際は本人申請（業績を証明する書類の提出及び研究科の推薦を含む）が必要です。

内定を得られなかった方も、貸与終了年度に「業績優秀者返還免除制度」へ応募できます（別紙「参考資料」参照）。

1. 申請対象者 ※ 下記の全てに該当する者が対象です。

- (1) 令和7年度に修士課程等の1年次〔法務研究科にあっては1年次又は2年次（法学既修者コース）〕に進学し、第一種奨学金（授業料後払い制度含む）を利用予定
※ 現在募集中の機構奨学金「大学院予約採用」の第一種奨学金（授業料後払い制度含む）を併せて申請してください。
- (2) 申請時点において、下記のいずれかに該当
 - ① 修学支援新制度を利用中（給付奨学生又は奨学金未利用だが新制度の授業料等減免を利用）
※ 家計基準に基づく支援区分の見直しにより「停止（対象外）」となっている者は申請できません（資産のみ基準外の者は対象）。
 - ② 上記①に該当しないが、住民税非課税世帯〔本人及び生計維持者（原則父母）の全員〕
- (3) 下記のいずれかの分野に進学を希望（いずれも全研究科申請可。選考時に本学が確認）
 - ① 特定分野（情報・AI、量子及びマテリアル等において、科学技術イノベーションの創出に寄与する分野）
 - ② 本学の強みや地域の強みを生かした分野
- (4) 将来、上記(3)の分野で必要な能力を備えて活動できると認められる者（選考時に本学が確認）

2. 推薦人数

- (1) 修士課程・博士前期課程
 - ① 特定分野（情報・AI、量子及びマテリアル等） 3 人
 - ② 本学大学院の強みや地域の強みを生かした分野 2 人
- (2) 専門職学位課程
 - ① 特定分野（情報・AI、量子及びマテリアル等） 1 人
 - ② 本学大学院の強みや地域の強みを生かした分野 1 人

※ 推薦人数は直近の同課程第一種奨学生数に基づき機構が算出しています。課程間又は申請分野間の流用はできません。

※ 推薦者であっても内定者として採用されない場合があります。

3. 申請書類の提出

下記書類を準備し、期限までに学生支援課学生援護係（奨学金担当）へ提出してください。各書類は学生生活支援情報ホームページ「奨学金」の「⑧返還免除内定制度」に掲載しています。

学生生活支援情報ホームページ https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/?page_id=26

- (1) 修士課程等返還免除内定候補者に係る推薦書（本人及び指導教員等の記入（入力）箇所あり）
- (2) 在籍校の成績証明書（通算 GPA の分かる最新のもの） ※(1)、(2)は所属学部等の事務室に確認。
- (3) 記入済のスカラネット入力下書き用紙（写し）
- (4) 申請要件を確認する書類
 - ① 修士支援新制度利用者：奨学生番号が分かる書類（奨学金未利用者は新制度授業料免除決定通知）等
 - ② 住民税非課税世帯：本人と生計維持者（原則、父母の両方）の最新の課税証明書

※ 書類の提出のみでは申請は完了していません（2段階申請。下記「4. 書類提出後の手続」参照）。

（提出期限） 2024年11月29日（金）期限厳守

（提出先） 学生支援課学生援護係（奨学金担当）の窓口を持参



学生生活支援情報ホームページ

4. 書類提出後の手続

- (1) 上記3の申請書類を不備なく提出できた後に、スカラネット（WEB 申請システム）のログイン用 ID/PASS を配付します。

※ 申請要件を満たさない者及び提出期限までに申請書類を不備なく提出できない者へは配付しません。

- (2) 配付された ID/PASS を使用し、スカラネットから申請手続きを行ってください。

（入力期限） 2024年12月10日（火）期限厳守

※ スカラネットの手続きをもって申請完了です。入力期限までに完了していない者は、選考対象外となります。

5. 内定者の決定

- (1) 本学の返還免除候補者選考に関する委員会において推薦者を決定します（3月）。
審査は「入試成績」、「学部（相当）の成績」及び「学部（相当）の長等からの推薦書」等を確認して「貸与期間中に十分な業績を挙げる見込みがあるか」を総合的に評価します。
- (2) 本学から機構へ推薦後、機構は被推薦者を審査し内定者を決定します。
- (3) 選考結果は、進学した研究科から連絡します（7月下旬を予定）。

6. 留意事項

- (1) **機構第一種奨学金（授業料後払い制度含む）「大学院予約採用（12/13 申請締切）」を忘れずに申請してください。**
- (2) 内定者の質保証のために、2年次進級時に中間評価を実施します（内定者として相応しい成績を挙げているかを確認）。
- (3) 内定者が貸与期間中に「停止」又は「廃止」の処置を受けた場合（やむを得ない場合を除く）や修業年限内に修了できなくなった場合は内定が取り消されます。